【コピー、転送、回覧など多くの人にお渡しください。各団体各地の活動をお知らせ下さい】

メールニュース

2025-No.4
2025年６月５日

安保破棄中央実行委員会
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764　FAX03-3264-4765

横須賀で、巡航ミサイル「トマホーク」配備撤回署名運動始まる

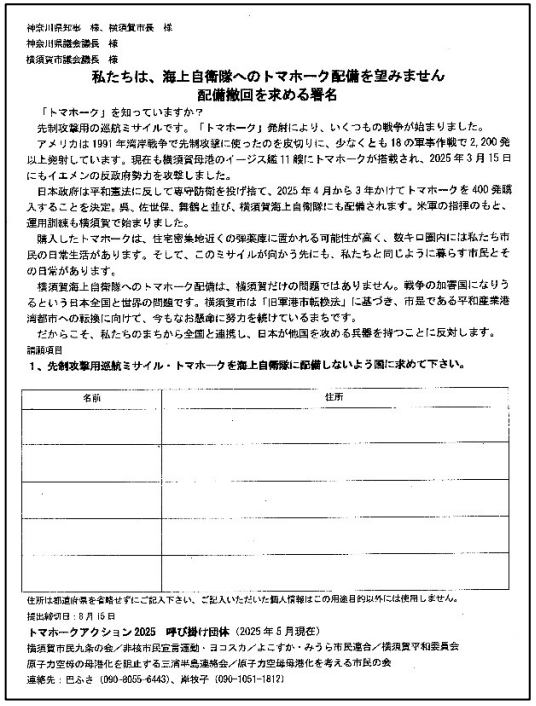
神奈川県横須賀市で「トマホークアクション２０２５」(横須賀市民九条の会/非核市民宣言運動・ヨコスカ/よこすかみうら市民連合/横須賀平和委員会/原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会/原子力空母母港化を考える市民の会、の６団体が呼びかけ）が、この５月から自衛隊艦船へのトマホーク配備撤回を求める署名運動をスタートさせました。

日本政府は、今年度（２０２５年）から敵基地攻撃能力となる米国製巡航ミサイル「トマホーク」を４００発購入し、国内４カ所（呉・佐世保・舞鶴・横須賀）の海上自衛隊基地所属のイージス艦に搭載する計画を明らかにしています。

「トマホーク」は１９９１年の湾岸戦争から使用され、これまで2,２００発以上が使用され、現在も多くの米海軍フリゲート艦などに搭載されている兵器です。そのほとんどが先制攻撃に使用されており、まさに憲法違反の兵器です。すでに昨年３月に自衛隊は「トマホーク」運用教育訓練を始めており、その様子は一部のマスコミに公開されています。

「トマホークアクション２０２５」では、今年８月１５日までに署名３万筆を集める予定です。署名運動開始にあたって５月１７日、京急横須賀中央駅Ｙデッキで実物大のトマホーク絵とパネル展示を実施（写真)。市民に署名を呼びかけました。また５月３１日、学習会と３万人署名キックオフを市内で開催。第１部の学習会では、非核市民宣言運動・ヨコスカの新倉裕史さんが自衛隊への「トマホーク」配備の危険性について講演、約６０人が参加しました。署名は神奈川県知事・横須賀市長・神奈川県議会議長・横須賀市議会議長に提出を予定しています。

（原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会阻止連ニュースより）



神奈川県知事　様、横須賀市長　様
神奈川県議会議長　様
横須賀市議会議長　様

私たちは、海上自衛隊へのトマホーク配備を望みません
配備撤回を求める署名

「トマホーク」を知っていますか？

先制攻撃用の巡航ミサイルです。「トマホーク」発射により、いくつもの戦争が始まりました。

アメリカは 1991 年湾岸戦争で先制攻撃に使ったのを皮切りに、少なくとも 18 の軍事作戦で 2,200 発以上発射しています。現在も横須賀母港のイージス艦 11 艘にトマホークが搭載され、2025 年 3 月 15 日にもイエメンの反政府勢力を攻撃しました。

日本政府は平和憲法に反して専守防衛を投げ捨て、2025 年 4 月から 3 年かけてトマホークを 400 発購入することを決定。呉、佐世保、舞鶴と並び、横須賀海上自衛隊にも配備されます。米軍の指揮のもと、運用訓練も横須賀で始まりました。

購入したトマホークは、住宅密集地近くの弾薬庫に置かれる可能性が高く、数キロ圏内には私たち市民の日常生活があります。そして、このミサイルが向かう先にも、私たちと同じように暮らす市民とその日常があります。

横須賀海上自衛隊へのトマホーク配備は、横須賀だけの問題ではありません。戦争の加害国になりうるという日本全国と世界の問題です。横須賀市は「旧軍港市転換法」に基づき、市是である平和産業港湾都市への転換に向けて、今もなお懸命に努力を続けているまちです。

だからこそ、私たちのまちから全国と連携し、日本が他国を攻める兵器を持つことに反対します。

請願項目

1、先制攻撃用巡航ミサイル・トマホークを海上自衛隊に配備しないよう国に求めて下さい。

名前	住所

住所は都道府県を省略せずにご記入下さい。ご記入いただいた個人情報はこの用途目的以外には使用しません。

提出締切日：8月 15 日

トマホークアクション 2025　呼び掛け団体（2025 年 5 月現在）

横須賀市民九条の会／非核市民宣言運動・ヨコスカ／よこすか・みうら市民連合／横須賀平和委員会
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会／原子力空母母港化を考える市民の会
連絡先：巴ふさ（090-8055-6443）、岸牧子（090-1051-1812）